

赤谷プロジェクト近況報告

「赤谷の森」で自然散策

10月19日(日)、一般の方を対象として赤谷センターが主催する「赤谷の森」自然散策を開催しました。

当日は県内から約20名が参加し、秋の「赤谷の森」に親しんでいただきました。

これは、赤谷センターが取り組んでいる環境教育の一環でもあり、現地へ向かう途中で赤谷プロジェクトの取組についてセンター所長

から説明した後、小出俣林道を往復6km程散策していただきました。



手をつないで大カツラの大きさを実感



センター職員による植物の説明

歩きながら「赤谷の森」の特徴や森林と動物の共生、目にした植物の説明等を行いました。

また、カラマツの漸伐試験地では、科学的根拠に基づいて「赤谷の森」の人工林を天然林へ移行していくための調査研究や自然再生への取組について説明しました。

小出俣林道がある「小出俣エリア」は、植生管理と環境教育のための研究や教材開発と実践の場として、今後も積極的に活用を図っていきたいと考えています。

地元小学生へ森林環境教育



三国峠は見事な紅葉でした

10月21日(火)、みなかみ町立新治小学校6年生の三国街道ハイキングに赤谷プロジェクト地域協議会和赤谷センターも同行し、三国街道の歴史の解説、自然観察、赤谷プロジェクトの動物調査の説明などを行いました。

当日は、80名近い児童が参加し、天気も良く絶好のハイキング日和の中、三国峠の新潟県側を出発し、権現清水では水を育む森林の働きについて、三国峠では上杉謙信の関東出兵などで歴史上重要な位置づけを持っていた三国街道の話や、森林限界と豪雪のことなどについて、地域協議会の方が解説を行いました。

赤谷センターでは、赤谷プロジェクトの概要とともに、

センサーカメラによる動物の生態調査について解説し、下山途中で実際にセンサーカメラを設置してもらいました。

新治小学校は、今年4月に猿ヶ京小学校と合併しましたが、旧猿ヶ京小学校の生徒は以前にもセンサーカメラを設置した経験があり、生徒同士で教え合う光景も見られました。

1ヶ月経って、センサーカメラを回収しますが、どんな動物が写っているか楽しみです。これを機会に多くの子供たちが地元の自然に関心を高めてもらうことを期待します。



センサーカメラ設置